

レッスン：

Can - for Ability 「Can (できる)」

概要：



| | |
|---------|--|
| 所要時間： | 40 分から 1 時間 |
| 目的： | 「Can you...?」を使って質問し「I can ...」を使って答えるなど、できること、できないことについて話す。 |
| 基本文： | "Can you ..?" "I can ..." "What can you do?" |
| 学習する単語： | jump, run, swim, hop, stomp my feet, turn around, fly, ride a bike |

ダウンロードする資料：

| | |
|----------|--|
| 絵カード： | jump, run, swim, hop, stomp my feet, turn around, fly, ride a bike |
| 印刷可能な資料： | <ul style="list-style-type: none"> • Basic Actions Ability ワークシート • Basic Actions Ability 3 ワークシート • What Can You Do? の歌のポスター • 「ウォームアップ」及び「まとめ」 レッスンシート |
| リーダーズ： | I Can |
| 歌： | What Can You Do? |

上記の資料は <http://www.kodomoeigokyoza.jp/esl-kids-lesson-plans.html> からダウンロードできます。

その他に用意するもの：

- クレヨンまたは色鉛筆
- CD プレーヤー、カセットデッキまたは音楽を再生できる機器

メモ：

とても楽しくエネルギッシュなレッスンです。みんなすぐに基本文を覚えることができるでしょう。このレッスンの一部(特に歌など)は、子どもたちのエネルギーを発散させてあげたいときなど、他のレッスンでも使えます。

レッスンの概要

ウォームアップと復習：

1. 「ウォームアップ」レッスンシートを参考にしてください。

新出内容とレッスンの実施方法：

1. 動詞を導入する
2. 「Quick flashcard actions」をする
3. 「Teacher Says」をする
4. 「Can you ..?」と「I can ...」を導入する
5. 「What Can You Do?」を歌う
6. 「Basic Actions Ability」のワークシートをする
7. リーダーズの「I Can」を読む

まとめ：

1. 宿題を出す：「Basic Actions Ability 3」のワークシート。
2. 「まとめ」レッスンシートを参考にしてください。

レッスンの流れ：

ウォームアップと復習：

「ウォームアップ」及び「まとめ」レッスンシートを参考にしてください。

新出内容とレッスンの実施方法：

1. 動詞を導入する

最初に、(jump, run, swim, hop, stomp my feet, turn around) など歌に出てくる動詞の絵カードを使ったアクティビティをします。全員立ってもらい、「jump」など絵カードを1枚取り出します。子どもたちには、カードを見せたらすぐにアクションをしてもらいましょう。アクションをしながら、先生は動詞を大きな声で言い



ます。子どもたちにも同じようにしてもらいましょう。他のカードも同じようにしてください。

2. 「Quick flashcard actions」をする

床に絵カードを裏返して置き、順番をバラバラにしておきます。子どもたちには立ったままでいてもらい、素早く1枚カードをめくってみんなに見せましょう。ここで先生は「jump」など絵カードに描かれている動詞を大きな声で言い、子どもたちは(1、2秒間)ジャンプをします。次に別のカードをめくり、動詞を言ってみんなにアクションをしてもらいます。テンポよく、次々にいろんなアクションが出てくるようにしましょう。

何度かこのゲームをしたら、再びカードの順番をバラバラにして、1枚を取り出します。今度はみんなに絵カードを見せないでください。先生だけが見て、「Run!」などカードに描かれている動詞を大きな声で言い、子どもたちが正しくアクションをできるか確認します。上手くできないようなら、絵カードを見せてあげてください。他の絵カードも同じようにし、全員が正しくアクションをできるようになるまでゲームを続けてください。



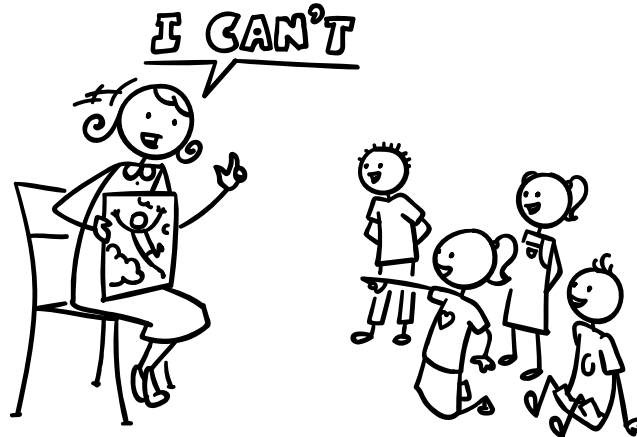
3. 「Teacher Says」をする

このゲームは「Simon Says」と同じですが、「Simon」の代わりに「teacher」または先生自身の名前を使います。(説明はせず)「Teacher says (jump)」などと言い、すぐにゲームを始めましょう。先生はjumpなどのアクションをし、子どもたちにも同じようにしてもらいます。「run」「turn around」「swim」など他にもいくつかやってみましょう。しばらくしたら、「Teacher says」を言わずに「Jump!」など動詞だけを言って指示を出します。みんなジャンプをしますが、ここで、「Teacher says」を言わなかったときはアクションをしてはいけないということをきちんと伝えておきましょう。子どもたちはそのうちコツをつかむはずですが、それから徐々にゲームのスピードを上げていってください。まちがったらアウトとなり、座らなければなりません。最後まで立っていた人の勝ちです。

4. 「Can you ..?」と「I can ...」を導入する

「fly」と「ride a bike」、2枚の絵カードを追加しましょう。子どもたちに座ってもらい、「jump」の絵カードを取り出します。「I can jump.」と言い、先生は自分を指さしうなづいたら、ジャンプをし、再び「I can jump.」と言います。「run」など他のカードも同じようにしてください。続いて「fly」の絵カードを取り出したら、驚

いた顔をし、首を振りながら「No. I can't fly.」と言いましょ。そして空を飛ぼうとして失敗する様子を見せてください。



また、何人かの子に「Can you fly?」とたずねてもよいでしょう。「Yes」と言う子が必ずいますが、そのときは信じられないという顔をして、「No. No I don't think so.」と言ってください。次に「turn around」や「hop」など、もういくつかアクションをしましょう。それから「ride a bike」の絵カードを取り出します。「I can't ride a bike.」と言い、自転車に乗ろうとしては失敗する様子を見せてください。残りの絵カードも同じようにしてください。(できることにするか、できないことにするかは先生にお任せします。)

ここで「hop」などの絵カードを取り出し、子どもたちに「Can you hop?」とたずねます。「Yes, I can hop.」などと言いながら、実際にやってみせてもらいましょう。他の絵カードも同じようにしてください。「ride a bike」「swim」「fly」などについてたずね、できないという答えも引き出してください。(fly はさすがにできませんね。)

5. 「What Can You Do?」を歌う

ボードに歌に出てくる順番に絵カードを貼るか、「What Can You Do?」の歌のポスターを貼りましょう。歌を再生し、みんなで歌います。先生といっしょに、歌いながらアクションをしてもらいましょう。この歌を初めてレッスンで使うときには、何度か続けて再生してください。

「What Can You Do?」の歌詞

(1番から2番、2番から3番と徐々にスピードを上げていきましょう。)

Verse 1:

What can you do? What can you do?

Can you jump? I can jump!
Jump, jump, jump, jump, jump, jump,
jump, jump, jump, I can jump!

Can you run? I can run!
Run, run, run, run, run, run,
run, run, run, I can run!

Verse 2:

What can you do? What can you do?

Can you swim? I can swim!
Swim, swim, swim, swim, swim, swim,
swim, swim, swim, I can swim!

Can you hop? I can hop!
Hop, hop, hop, hop, hop, hop,
hop, hop, hop, I can hop!

Verse 3:

What can you do? What can you do?

Can you stomp your feet? I can stomp my feet!
Stomp, stomp, stomp, stomp, stomp, stomp,
stomp, stomp, stomp, I can stomp my feet!

Can you turn around? I can turn around!
Turn, turn, turn, turn, turn, turn,
turn, turn, turn, I can turn around!

Verse 4:

(Let's do all six!)

Let's jump, jump, jump, jump, jump, jump.
Let's run, run, run, run, run, run.
Let's swim, swim, swim, swim, swim, swim.
Let's hop, hop, hop, hop, hop, hop.
Let's stomp, stomp, stomp, stomp, stomp, stomp.
Let's turn, turn, turn, turn, turn, turn.
Let's jump, run, swim, hop, stomp, turn.
We can!

「What Can You Do?」の歌に合わせてする動き

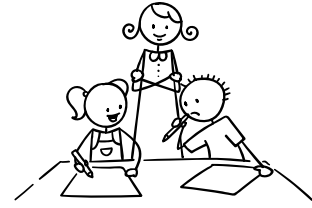
この歌のアクションは簡単です。歌に出てくる順にアクションをしてください。子どもたちにはその場でアクションをしてもらうのがよいでしょう。そうしないと収拾がつかなくなるかもしれません。



"Can you hop? I can hop!
Hop, hop, hop, hop, hop, hop,
hop, hop, hop, I can hop!"

6. 「Basic Actions Ability」のワークシートをする

ここで、ワークシートを配布しましょう。このワークシートには歌で学習した単語が出てきます。ワークシートをしている間に、子どもたちに「What is this?」や「Can you swim?」などの質問をしましょう。



7. リーダーズの「I Can」を読む

レッスンの最後に、お話を読みます。これは簡単なよいお話です。レッスンの前にリーダーズの「I Can」をダウンロードし、印刷しておいてください。読むときは、絵を指さし、子どもたちからキーワードを引き出しましょう。例：

先生: *What is this?*

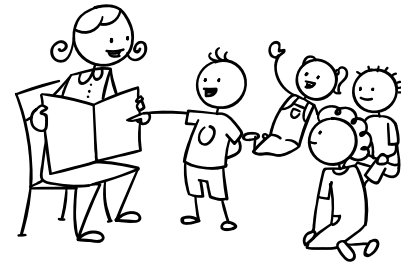
子どもたち: *It's a rabbit.*

先生: *And here the rabbit says "I can ..."*

子どもたち: *Jump!*

先生: (子どもたちに言う) *Can you jump?*

子どもたち: *Yes!* (ジャンプをする)



色や物の名前を引き出すなどたくさんの質問をしたり、お話に出てくるアクションをしてもらうなどして、子どもたちが深くお話に入っていけるようにしましょう。

まとめ：

1. 宿題を出す：「Basic Actions Ability 3」のワークシート。
2. 「ウォームアップ」及び「まとめ」レッスンシートに掲載されたアイデアを利用し、レッスンをまとめる。

- このレッスンプランで使用した絵カード、ワークシート、工作シート、リーダーズ、歌は全て [kodomoeigokyozaai.jp/esl-kids-lesson-plans.html](http://www.kodomoeigokyozaai.jp/esl-kids-lesson-plans.html) からダウンロードできます。
- [kodomoeigokyozaai.jp/esl-kids-lesson-plans.html](http://www.kodomoeigokyozaai.jp/esl-kids-lesson-plans.html) には無料でご利用いただけるレッスンプランが多数あります。

サイト上にミスがあった場合は <http://www.kodomoeigokyozaai.jp/contact.htm> にご連絡ください。

このレッスンプランはこども英語教材(<http://www.kodomoeigokyozaai.jp>)が作成したもので、著作権の保護下にあります。